

# 2010 年度 私立大学図書館協会 海外認定研修報告書

武庫川女子大学附属図書館  
川崎安子

\*テ ー マ : 「米国大学図書館におけるライティング・センターの役割について」

\*調査先① : 2011年2月11日(金) ジョージ・ワシントン大学 Gelman Library

担 当 者 : Emily Bliss 氏

(Teaching Assistant Prof. of Writing & Deputy-Director)

Dolsy Smith 氏

(Reference, Instruction, and Collection Development Librarian)

\*調査先② : 2011年2月14日(月) ジョージタウン大学 Lauinger Library

担 当 者 : Margaret A. Debelius 氏

(Director of the Writing Center)

Sandra R. Hussey 氏

(Sr. Reference Librarian & Library Research Instruction Coordinator)

\*目 次 :

はじめに.....	2
(1) 大学におけるライティング・センター.....	2
(2) ジョージ・ワシントン大学.....	3
(3) ジョージタウン大学.....	4
終わりに.....	5
謝辞.....	6
参考文献.....	6

## はじめに

筆者が奉職する武庫川女子大学では、2011年度より全学共通教育科目「論理的思考法(Ⅰ)(Ⅱ)」(各2単位)が開講された。外部専門講師によるライティング・プログラムで、大学生として必要な日本語表現の基礎を学ぶことが目標である。具体的には、基本的な文章表現の技術から、論理的に整った文章作法までを学習する。日常使う語彙、時事的なテーマに関する用語などを含む日本語運用能力に加え、レポートや卒業論文の作成など、論じるための表現の理解と能力の獲得、事柄を問題として論じるのに不可欠な論理的思考能力などを培うことを目指す(『共通教育要覧』より)。

時を同じくして、大学法人全体で職員を対象にした業務の改善・新規提案を募集する「仕事アイデア」制度が実施され、附属図書館においては図書館リソースを活用した論文・レポート作成のスキル獲得を企図した「アカデミック・スキルズ入門講座」の実施が採択された。現在、2011年度特別学期での開講を目指して、関連部署や学科教員との調整が進んでいる。

この準備段階の情報収集において頻繁に目にしたのが大学におけるライティング・センター(以下、WC)の取組みであった。その始まりが米国であり、図書館内に設置されている事例が非常に多いことを知り、活動状況を実際に見てみたいと思ったのが、今回の調査のきっかけである。

### (1) 大学におけるライティング・センター

米国では、ほとんどの大学にWCが設置されている。小塚によると、米国の大学においてはDepartment of Englishの機能とし

て一般的であり、ラーニング・コモンズの発展のひとつに、図書館内にWCを設置する方向性が認められるという(小塚 2009 : 329-30)。

米国におけるWCの歴史は古く、その始まりは1970年代にさかのぼる。インフレによる経済不安を背景にした大学経営の危機、州政府等からの補助金の削減、18歳人口の減少、高等教育の大衆化に伴う低学力化という、まさに今日本の我々が抱える問題とまったく同じ状況が70年代のアメリカの大学に起こった。この学力低下現象の克服のために設置されたのがWCである。

その規模や運営方法は多種多様だ。教員がオフィスアワーとして時間を提供するものから、学部生・大学院生によるチューター制度をとる大学もある。多くの場合、学生チューターがWCの運営に関わっており、アルバイト料が支払われるケース、ワークスタディとして単位を与えられるケース、またはまったくのボランティアのケースもある。統括する大学としては、WCの活動を通して得るチューター側の経験もまた、学生を育てる貴重な側面であると評価されているのが特徴だ(森越 2008 : 48)。

日本において大学図書館内にWCを設置している事例としては、金沢工業大学が挙げられる。ホームページによると、授業の課題として出された小論文やレポートの文章添削を行うほか、就職試験のための小論文、履歴書、各種手紙文、講演レポート、自学自習で作成した小論文など、多様な文書作成に関する添削の個別指導を行っているという。その設置構想時の状況と活動内容については、藤島らがまとめた報告書に詳しく述べられている(藤島ほか 2004 :

1-35)。

## (2) ジョージ・ワシントン大学

1821年に設立されたジョージ・ワシントン大学（以下、GWU）は、ワシントン D.C. の中心部にある有名な私立大学である。3つのキャンパス内に、医学、法学、工学、教育学、ビジネス、パブリック・マネジメント、国際情勢の学位課程のほか、200を超える大学院課程を有し、学部生は約1万人、大学院生は約1万4千人と、大学院生の方が多。



<写真1 Gelman Library>

GWUには5つの図書館がある。総蔵書数は約200万冊で、そのほか約4万タイトルの電子ジャーナルと300種を超えるデータベースを購入している。最も規模が大きい図書館はゲルマン図書館で、24時間開館しており、館内はすべて無線LANが設置されている。地下1階から地上7階までの8フロアのうち、WCは1階入口から進んだ奥端に位置する。

まず、GWUでは大学1年生の全学必修科目として「アカデミック・ライティング」の授業が1セメスターごとにあり、ライテ

ィング・プログラム専門の教授6人とサブジェクト・ライブラリアン12人が担当している。教授1人に対して1~2人のライブラリアンがつき、いったんペアが組まれると変わることはない。お会いしたライブラリアンの話によると、教員との事前打ち合わせが大変で、もっとも時間をかけているとのことだった。



<写真2 Writing Center 入口>



<写真3 Writing Center>

GWUでは1988年にWCが設置されたが、2010年9月にゲルマン図書館内に移設された。1日の入館者数が約6千人の図書館にWCを移したことで、WCの利用者数は増加傾向にあるという。

チューターとして大学院生 9 人と学部生 25 人が交代で待機しており、室内にはチューターの顔写真とともに各専門の自己紹介が掲示されていた。

WC の予約はオンラインで行われており、学生は 25 分か 50 分のセッションを選択することができる。ただし、予約の無断放棄を 3 回繰り返すと、WC のプログラムに参加できなくなる。

WC のホームページには、「アカデミック・ライティングとは何か？」という導入から、学術分野ごとの論文・レポート・引用文献の書き方、優秀成績“A”論文へのヒントなどが紹介されている。

また、非英語圏の学生に対しては WC とは別立てで、言語センターが主催する「ライティング・サポート・プログラム」が無料で用意されており、教員と 1 対 1 で指導を受けることができる。

### (3) ジョージタウン大学

ジョージタウン大学（以下、GU）は、ワシントン D.C. の近郊に位置する、カトリック教会、およびイエズス会創設の大学としては全米最古の歴史を持つ名門の私立大学だ。1789 年に設立され、3 つのキャンパス内に 8 つのスクールがあり、特に国家経済や政治経済の分野が有名で、12 学部と大学院 10 研究科を有する。約 7,500 人の学部生と、約 5,500 人の大学院生が学ぶ。

GU には 8 つの図書館があり、総蔵書数は約 244 万冊である。1891 年から 1970 年の間、中央図書館として使用されていたリグス図書館は、全米でもっとも美しい大学図書館のひとつと言われており、現在は主として大学のレセプション・スペースとして

使用されている。



<写真 4 Georgetown University>



<写真 5 Riggs Library>

GU では 1977 年に WC が設置され、ライティング・プログラムとしては 1981 年に始まった。新入生全員にプレースメント・テストを実施し、ライティング・スキルが十分ではないと判断された学生は、1 セメスター実施されるライティングの授業を受講しなければならない。授業を担当するのはテニユア教員のみで、プログラム内容は各教員に委ねられている。なお、そのプログラムに図書館員は直接関わっていないとのことだった。

中央図書館に相当するロインジャー図書

館は地下1階地上5階建てで、WCは2階に設置されている。図書館は24時間開館しているが、WCの通常オープン時間は10:10～20:10で、土曜日は閉まっている。

インタビュー当時は9人の大学院生と20人の学部生がチューターとして登録していた。WCの受講予約はオンラインで行われており、予約が入っていない時間もチューターはスタンバイしているので、直接訪問して空いていれば指導を受けることができる。オンライン予約一覧の画面を拝見したところ、連日予約が詰まっており盛況な様子が伺えた。混雑時は1人当たり30分までのセッションとなっている。

なお、大学院生のチューターにはアルバイト料として時給8ドルが支払われ、学部生の場合は小額の報酬のみでほぼボランティアに近い。

WCのホームページでは、セッションの様子や予約方法を動画で見ることができるほか、チューターの顔写真と専攻が紹介されており、アットホームな雰囲気を感じられる。



<写真6 Writing Center>

WCの真横にはミッドナイト・マグと呼ば

れるコーヒー・ショップが併設されており、通常夜中の2時まで営業している。製本雑誌が配架されている書架に囲まれた飲食スペースは非常に奇異であるが、図書館内で一番賑わう場所とのことである。その動線を狙ってWCを設置した。



<写真7 Midnight Mug>

### 終わりに

GWUにおいて図書館員が教員と協働してアカデミック・ライティングの授業を担当している事例は見られたものの、図書館員がWCの運営に直接関わることはなく、2大学ともWCがただ図書館内にあるだけという印象を受けた。それでも、WCに関わる“ヒト”と図書館の“モノ”が連動して、効率よくサービスが提供できる環境には違いない。

日本の大学におけるWCの設置はごく最近のことで、今後ますます需要が見込まれる。本学の場合、正課授業でのアカデミック・ライティング指導が始まったばかりであり、WCについては授業の受講状況や学生のニーズを捉えながら全学で検討を進めることになるだろう。学生の基本的な学びを支える役どころとして、やはり図書館が積

極的に参画しなければならないと自覚する。学生はもちろんのこと、大学側から求められたときに即時対応できるよう、館内のあらゆるリソースの整理と情報提供が重要となる。そして何より、アカデミック・ライティングに精通した図書館員の育成こそが本学における喫緊の課題であると認識した。

開設と運営：ライティングチュータープログラムの可能性」『北星論集』（44）：47-61.

以 上

### 謝辞

この度の調査をサポートしてくださったジョージ・ワシントン大学、ならびにジョージタウン大学の関係者の皆さま、本学文学部教育学科の安東由則教授、そして私立大学図書館協会のご担当の皆さま方に心よりお礼申し上げます。

### 参考文献

- 藤島秀隆ほか, 2004, 「K. I. T. ライティングセンターの活動と現状報告」『KIT progress : 工学教育研究』9 : 1-35.
- The George Washington University  
(<http://www.gwu.edu/>, 2011. 5. 1)
- The George Washington University Writing Center (<http://www.gwu.edu/~gwriter/>, 2011. 5. 1)
- Georgetown University  
(<http://www.georgetown.edu/>, 2011. 5. 1)
- Georgetown University Writing Center  
(<http://writingcenter.georgetown.edu/>, 2011. 5. 1)
- 小坏守, 2009, 「情報リテラシーとラーニング・コモンズ：日米大学図書館における学習支援」『情報の科学と技術』59(7) : 328-33.
- 森越京子, 2008, 「英語ライティングラボの